

2023年3月期 第3四半期 決算短信補足資料

2023年1月31日（火）



売上高は増収、

経常利益は原材料高などの影響により減益

- ◆ 国内外での販売堅調により5.9%増収
- ◆ 材料価格高騰により11.4%の営業減益

(百万円)

	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q		
		実績	対前年同期	
			増減	%
売上高	33,339	35,312	1,973	5.9%
売上原価	24,962	27,174	2,211	8.9%
売上総利益 (売上総利益率)	8,376 (25.1%)	8,137 (23.0%)	△238	△2.8%
販管費	6,186	6,198	11	0.2%
営業利益 (営業利益率)	2,189 (6.6%)	1,939 (5.5%)	△250	△11.4%
経常利益	2,515	2,399	△115	△4.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,862	1,756	△105	△5.6%

民需SSを除き、各部門とも前期を上回り堅調

- ◆ IoT関連機器の伸長や輸出回復によりガス関連機器は4.2%増収
- ◆ 国内市場・海外市場ともに堅調に推移し、水道関連器機器は7.7%増収
- ◆ 部品調達難が影響し、民需センサー・システムは7.1%減収
- ◆ 前期から当期完了に変更となった期ずれ工事物件の影響などから計装は19.8%増収

(百万円)

	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q		
		実績	対前年同期	
			増減	%
計測器関連事業				
ガス関連機器	17,108	17,829	720	4.2%
水道関連機器	11,587	12,479	892	7.7%
民需センサー・システム	2,046	1,901	△144	△7.1%
計装	2,545	3,050	504	19.8%
計測器関連事業合計	33,288	35,261	1,973	5.9%
特機関連事業				
特機	51	51	0	0.6%
合計	33,339	35,312	1,973	5.9%

輸出はアジア・欧米とも好調、売上高は3割弱の伸び

- ◆ 日本国内はガス関連機器の取替需要やIoT関連機器、堅調な官需を中心とした水道関連機器の伸長により4.0%増収
- ◆ アジアは台湾向け都市ガスメーター、アセアン向け水道メーターが増加し、32.1%増収
- ◆ 欧米は北米向け水道メーターが増加したほか、円安効果もあり26.1%増収

(百万円)

	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q		
		実績	対前年同期	
			増減	%
国内	30,908	32,156	1,248	4.0%
海外	2,430	3,155	725	29.8%
アジア	1,521	2,009	488	32.1%
欧米	908	1,145	236	26.1%

貸借対照表（資産）

- ◆ 棚卸資産の増加等により流動資産が466百万円増加
- ◆ 繰延税金資産の減少等により固定資産が155百万円減少

（百万円）

	2022/3期	2023/3期 3Q	
		実績	対前期末
			増減額
流動資産	32,904	33,371	466
固定資産	19,323	19,168	△155
有形固定資産	7,990	8,044	53
無形固定資産	76	80	3
投資その他の資産	11,256	11,043	△212
資産合計	52,227	52,539	311

貸借対照表（負債・純資産）

◆未払法人税の減少等により流動負債が1,155百万円減少

◆利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加により純資産は1,594百万円増加

（百万円）

	2022/3期	2023/3期 3Q	
		実績	対前期末
			増減額
流動負債	10,744	9,589	△1,155
固定負債	6,254	6,127	△127
負債合計	16,999	15,716	△1,282
株主資本	32,789	33,860	1,070
資本金	3,218	3,218	—
資本剰余金	311	311	—
利益剰余金	29,407	30,433	1,026
自己株式	△147	△103	43
その他包括利益累計額	2,426	2,949	523
新株予約権	12	12	—
純資産合計	35,228	36,822	1,594
負債純資産合計	52,227	52,539	311



＜免責事項＞

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や合理的であると判断した一定の前提に基づくものであり、様々な要因により実際の業績などが大きく異なる可能性があります。